

第 5 章

地域別の取組状況

(1) 佐久地域 ～多様な人材で支え合う持続可能な佐久の農業・農村～

達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	新規就農者数（49 歳以下）	28 人/年	33 人/年	13 人/年	33 人/年
	中核的経営体数	2,097 経営体	2,120 経営体	2,500 経営体	2,150 経営体
2	堆肥入り化学肥料の施用面積	195ha	240ha	230ha	300ha
	鮮度保持機能の向上を行う施設数（累計）	—	1 施設	2 施設	3 施設
3	新規需要米等の作付け面積	228ha	245ha	241ha	260ha
	ブルーノの栽培面積	71ha	71ha	71ha	71ha
4	化学合成農薬・化学肥料を原則 50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	474ha	592ha	590ha	725ha
5	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,444ha	4,583ha	4,522ha	4,602ha
	防災重点農業用ため池の地震耐性評価の実施箇所数（累計）	18 か所	44 か所	46 か所	84 か所
6	売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上額	23.3 億円	23.8 億円	28.6 億円	25 億円
	新たに地元食材を供給する宿泊施設、飲食店数（累計）	—	7 施設	6 施設	20 施設

重点取組 1：皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

- 担い手を明確にする地域計画の策定と実現に向けた支援
 - ・ 市町村の地域計画策定のための協議の場設置に向けた支援（28 回）
- 意欲ある担い手の生産技術、経営能力向上支援
 - ・ 新規就農スキルアップ講座による生産技術の向上（講義 3 回）
 - ・ 農業複式簿記講座を通じた経営管理能力の向上（講義 7 回）
- 市町村、関係団体と連携した新規就農者の確保・育成及び就農後のサポート
 - ・ 地域が求める品目での「産地提案書」の作成（3 市町 3 品目）
 - ・ 市町村サポートチームによる営農状況の把握と課題解決支援（4 経営体（延べ 8 回））



【地域経計画の協議】

重点取組 2：夏秋期葉洋菜等の全国ナンバー 1 産地としての持続的発展

- 需要に応じた葉洋菜の計画生産と、環境に配慮した資材・技術導入によるグリーン栽培の推進
 - ・ ペレット堆肥及びオリジナル肥料の葉菜類への有効性確認試験の実施（2 か所）
 - ・ フェロモン剤利用による減農薬栽培の取組支援（1 か所）
- 適正規模による効率的な経営モデルの推進
 - ・ 輪作体系品目の検討、ネギ、セルリー導入農家の栽培指導（8 回）
 - ・ サヤインゲンの現地適応性の確認（2 戸）
- 稼ぐ野菜産地を支える鮮度保持施設等の機能向上支援
 - ・ 葉洋菜の鮮度保持施設整備に向けた計画作成支援（1 か所）
 - ・ 作業の効率化を図るためのレタス収穫機の導入及び活用支援（1 か所）



【フェロモン剤の効果確認】

重点取組 3：佐久の立地と気象を生かした個性が光る産地づくり

- 水田農業の高単収と高品質の維持に向けた安定生産及びスマート農業技術の導入推進と雑草イネの発生面積抑制
 - ・ 関係機関が連携したイネ W C S の取組推進（新規作付面積 6 ha）

- ・ 雑草イネ対策プロジェクトチームによる啓発活動の実施（50回）
- 生乳の生産性向上や効率的な飼料給与技術の導入による酪農等の生産基盤の強化
 - ・ 牛群ドックに基づく飼養管理技術向上指導の実施（12戸）
 - ・ 個別肉用牛繁殖経営における技術的な課題の洗い出しと改善の指導（6戸）
- プルーンの生産量維持と佐久の強み生かした品種構成による産地展開
 - ・ 生食プルーンの認知度向上と魅力発信に向けたイベントの実施（プルーンフェア1回、スイーツスタンプラリーの実施）
 - ・ 新規栽培者の巡回指導の実施（3戸・5回）
- 施設花きの連作障害対策と燃油削減技術の導入による低コスト安定生産
 - ・ トルコギキョウ立枯病対策として土壌還元消毒現地検討会の開催（1回）
 - ・ カーネーション高温対策のための遮光・遮熱資材実証ほの設置（2か所）



【佐久プルーンフェア】

重点取組4：環境にやさしい農業の取組面積の拡大

- 土壌診断に基づく施肥設計や化学肥料を削減した栽培の推進
 - ・ 葉洋菜類の土壌診断結果に基づく基肥減肥試験ほの設置（2か所）
 - ・ 施設花きの土壌診断結果に基づく個別面談の実施による適正施肥推進（15戸）
- 有機農業生産者グループの育成と安定生産の推進
 - ・ 有機農業生産者の経営実績調査の実施（1戸）
- 農畜産物の安全性確保のためのGAP導入の推進
 - ・ GAP導入推進のための研修会の開催（1回）と巡回指導の実施（2回）



【キャベツ減肥試験現地検討会】

重点取組5：農業農村の多面的機能の維持と災害から暮らしを守る防災対策の実施

- 多面的機能支払事業等を活用した農地や農業用水路の適切な管理の支援
 - ・ 活動面積の維持・拡大を図るため、市町村や活動組織への制度説明会や技術研修会等の開催（14回）
- 防災重点農業用ため池に係る防災対策の集中的かつ計画的な推進
 - ・ 地震に対する耐性評価の実施と、結果の管理者との共有による対策工事等の取組を支援（15か所）
- 地域ぐるみで取り組む野生鳥獣被害対策への支援
 - ・ 交付金等の活用による市町村と連携した被害対策の推進（4市町村）



【野生鳥獣被害対策研修会】

重点取組6：地域食材の魅力を伝える地消地産と食育の推進

- 農産物直売所の店舗運営、品揃え充実、直売所間連携等のための研修会等の開催
 - ・ 農産物直売所の共通課題明確化のための農産物直売所交流会の開催（1回、2月）
- 特徴ある農畜産物・水産物の宿泊施設等への供給による地消地産の推進
 - ・ 農畜産物流通業者等との地消地産流通体制確立打合せ（1回）
 - ・ 宿泊施設等を対象とした見学会の開催（2回）
- 関係機関と連携した食育・花育活動の推進
 - ・ 市町村、加工グループと連携した地元産大豆を利用したみそづくり教室の開催（3回）
 - ・ 地域の花を利用したフラワーアレンジメント教室の開催（5回）



【味噌づくり教室】

(2) 上田地域 ～ 人・食・地域 つながり輝く上小農業 ～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度 現状	2024 年度		2027 年度 目標
			計画	実績	
1	新規就農者数（49 歳以下）	7 人/年	11 人/年	11 人/年	11 人/年
	中核的経営体数	529 経営体	565 経営体	580 経営体	620 経営体
2	多目的防災網等の利用面積	59ha	76ha	63ha	100ha
	醸造用ぶどうの収穫量	281t	685t	301t	1,200t
	持続性の高い生産方式導入面積	428ha	464ha	400ha	500ha
3	県オリジナル品種等の普及面積	293ha	607ha	643ha	624ha
	米・ぶどうの輸出量	245t	270t	318.1 t	300t
4	都市農村交流人口	6,576 人	17,540 人	30,432 人	34,000 人
5	防災重点農業用ため池の防災対策工事 の着手箇所数	21 か所	24 か所	24 か所	29 か所
6	学校給食の県産食材利用割合（品目 ベース）	46%	46.8%	41.6%	48%
	常設農産物直売所の売上高	20 億円	22 億円	28 億円	25 億円

重点取組 1：人と地域のつながりによる担い手の確保と農地利用

- 地域サポート計画の充実による新規就農者の確保・育成
 - ・ 地域サポート計画に基づいた新規就農者への相談会や支援セミナー等による開催支援（就農相談 40 名、支援セミナー 26 名）
 - ・ 農業次世代人材投資事業等対象者（22 名）への定期的な面談等による経営確立を支援
- 地域計画（人・農地プラン）に基づく地域に合った農地利用の推進
 - ・ 中間管理機構と連携し経営規模拡大意向のある農業者へ優良農地貸付けの推進を支援（886 件、198ha）
 - ・ 地域計画に係る集落懇談会の開催支援及び関連事業に関する情報提供（42 懇談会、延べ 89 人）
- 経営計画の実現による地域農業を担う中核的経営体の確保
 - ・ サポート事業等を利用した中核的な経営体の育成（14 経営体）



【関係機関と連携した就農相談】

重点取組 2：持続性の高い生産方式への転換と稼げる農畜産物生産

- 気象変動や気象災害に強い産地づくり
 - ・ 多目的防災網等（簡易雨よけ施設含む）の導入促進による災害防止等の技術向上支援（設置面積：補助事業関係 1.6ha）
 - ・ 収入保険加入増加につながる講習会等での啓発支援（情報提供・資料配布等 11 回）
- 自然を活かした環境保全型農業の拡大
 - ・ 「みどり認定（旧エコファーマー）」制度の周知と取得者の拡大（啓発活動 5 回、新規取得・更新 16 名）
 - ・ 土づくり技術と農薬資材削減技術の向上による環境にやさしい農産物認証の取得推進（啓発活動 3 回、認証面積（R7 計画）239ha）
- ワイン文化の定着に応える醸造用ぶどうの質・量の向上
 - ・ 病虫害防除等の栽培技術の向上を目指した千曲川ワインアカデミーや生産者技術セミナーの開催支援（1 月）



【醸造用ぶどうの生産者技術セミナー】

- 温室効果ガス排出量の少ない生産方式の導入支援
 - ・ ぶどう剪定枝の炭化による土壌貯留に関する実演会開催（1月）
- 特定家畜伝染病対策の強化
 - ・ 飼養衛生管理基準の遵守の徹底及び防疫演習等の実施による防疫体制の強化（埋却候補地現地調査8月、防疫演習11月開催、消毒ポイント国交省との連携会議1月）
- 野生鳥獣被害防止対策の強化
 - ・ 補助事業を活用した侵入防止柵の設置及び設置後の維持管理の徹底（長門牧場：侵入防止策設置延べ10km、維持管理巡回指導1回）



【防疫演習：模擬農場での殺処分】

重点取組3：実需者に“つながり・応え・つくる”生産と流通の拡大

- 消費ターゲットを明確化した生産対応と販路拡大
 - ・ 麦オリジナル品種「しろゆたか」の栽培実証ほ設置（5か所）と栽培指針を作成
 - ・ 消費者が求めるりんご・ぶどうのオリジナル品種等の品質向上対策（シナリップ講習会7月）
- 世界基準を見据えた生産振興による農畜産物輸出の拡大
 - ・ 地域協議会及び地元の米輸出事業者と連携した新市場開拓用米の取組拡大支援（輸出継続確認会議参加：東御市主催1月）
- ワイン等酒類の需要拡大につなげる販売力・発信力の強化
 - ・ 千曲川ワインバレー特区連絡協議会（事務局：東御市）と連携した販促イベント開催や情報発信の支援



【シナリップ夏季講習会】

重点取組4：地域資源を活かした“人と地域”のつながりの活性化

- 地域資源の維持保全活動を通じた地域活動の活性化支援と魅力発信
 - ・ 棚田など農業資産の魅力や役割を発信するとともに維持保全活動を支援（全国棚田（千枚田）サミット開催）
 - ・ ため池耐震化工事（1地域）に併せた現場見学会を開催し、地域が行う農業資産の学習活動を支援（10月）
- “農ある暮らし・農業体験”の充実による都市農村交流の活性化
 - ・ 「稲倉の棚田」を中心とした都市農村交流の推進支援
 - ・ 半農半X、定年帰農、クラインガルテンなど「農ある暮らし」の情報発信



【全国棚田(千枚田)サミット in 上田】

重点取組5：農村の暮らしを守る農業基盤の強靱化

- ハード・ソフト一体となった“ため池”防災減災対策の推進
 - ・ ため池（8地区）の計画的な防災工事着手に向けた計画策定の支援（4地区）と工事の推進
 - ・ ため池の地震・豪雨体制評価の支援（10地区）
- 排水対策の強化等に向けた農業水利施設の自動化・遠隔化の推進
 - ・ 基幹的農業水利施設における水門の自動化・遠隔化を支援（1か所）



【ため池(塩野池)の防災工事】

重点取組6：食文化の伝承と地産地消の推進

- 地元農産物や食文化を活用した食育・農育の推進
 - ・ 地域伝統野菜等を使った食育活動の推進、支援（東御市滋野小：食育授業9月）
 - ・ 食育地域フォーラム開催協力による食育の推進（農村生活マイスター参加2月）
 - ・ 「山口大根」の栽培技術の向上支援（9月）
- 農産物直売所の機能拡大による地産地消の推進
 - ・ 端境期の品揃え充実に向けた新品目導入試験や地域の貯蔵技術に関する調査実施（技術調査結果を情報発信2回、魅力アップセミナーで発表）
 - ・ 売上額アップにつながる労働環境の改善や接客サービスの向上に係る支援（ポップ研修会開催2月、上田市との連携開催2回）



【伝統野菜等の食育授業】

（３）諏訪地域 ～多様な担い手をつむぎ・守る 自然と共生する諏訪の農業農村～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	530 経営体	530 経営体	604 経営体	540 経営体
	新規就農者数（49 歳以下）	8 人／年	5 人／年	2 人／年	9 人／年
2	セルリーの出荷数量	8,005 t	8,050 t	7,210 t	8,500 t
	ブロッコリーの出荷数量	1,593 t	1,700 t	1,494 t	1,800 t
	アルストロメリアの出荷本数	1,183 千本	1,863 千本	1,986 千本	1,957 千本
3	基幹的な農業用水利施設整備延長	41.1km	41.1km	41.8km	42.9km
	担い手への農地集積・集約化を実現する基盤整備面積	37ha	45ha	47ha	73ha
4	信州の環境にやさしい農産物認証 取組件数	18 件	22 件	18 件	25 件
	緑肥の利用面積	123ha	194ha	184ha	204ha
5	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	2,663ha	2,661ha	2,656ha	2,663ha
6	食育活動や農業イベントを実施する農産物直売所数	30 店舗	30 店舗	29 店舗	30 店舗

重点取組 1：諏訪農業をつむぎ・守る多様な担い手の確保・育成

- 就農前研修の充実と関係機関が連携した円滑な就農支援
 - ・ 里親研修生に対する定期巡回や集合研修（4 回）による就農前の技術・知識の習得促進（1 回／月）
- 農業法人への就職や短期雇用、農福連携等、多様な雇用形態の確保
 - ・ 福祉施設と農業のマッチング支援（2 回）
- 農業・農村における女性の活躍を支援
 - ・ セミナー等の集合研修によるスキルアップを支援（2 回）



【障がい者による農作業支援】

重点取組 2：高標高を活かした「稼げる」諏訪農畜産物の生産力強化

- セルリー疫病、テンサイシストセンチュウの防除技術や、転作田の排水対策の確立によるセルリー、ブロッコリー等野菜の生産安定
 - ・ セルリー疫病対策に係るチェックシートの活用と排水対策の検討（指導会 2 回）
 - ・ 輪作を前提としてテンサイシストセンチュウの防除体系の導入に向けた現地実証
- キャベツ、ダイコン、レタス等主要品目の生産維持・拡大
 - ・ パセリの生産安定に向けた疫病防除対策等の推進（指導会 3 回）
- トルコギキョウの土壌病害対策やキク類、カーネーション、花木類等の生産拡大、品目複合等による花きの収益性向上
 - ・ トルコギキョウ立枯れ症状対策として土壌消毒の啓発（1 回）
- 高温化に対応したりんごやワイン用ぶどう等果樹生産の拡大や新たな園芸品目の導入
 - ・ ワイン用ぶどう栽培技術のスキルアップを支援（2 回）
 - ・ りんごの温暖化に対応した品種の栽培技術向上支援（2 回）



【ワイン用ぶどう栽培講習会】

重点取組 3：地域農業の将来像・担い手を明確にした農地利用と基盤整備

- 人・農地プランの法定化による「地域計画」の策定支援
 - ・ 市町村が取り組む地域計画策定の策定を支援（6市町村）
- 基幹的農業用水利施設の計画的な整備、更新と保全管理
 - ・ 「滝之湯堰地区」の改修工事を実施（実施延長 L=0.5 km）
- 農地の利用計画や特性に応じた基盤整備
 - ・ 「高森地区」（富士見町）の水田の畑作利用等にむけた基盤整備計画を策定（1地区）
- 中核的経営体への農地の利用集積を推進
 - ・ 「諏訪平地区」（諏訪市）における中心経営体（担い手）への農地集積・集約化促進のため、耕作条件の改善を目的としたほ場整備工事に着手（実施面積 A=10ha）



【滝之湯堰の改修工事】

重点取組 4：諏訪湖や八ヶ岳山麓等の豊かな自然と共生する農業の推進

- 信州の環境にやさしい農産物認証や国際水準 G A P 等、持続可能な農業への取組や各種認証取得を支援
 - ・ 新たな取組組織の掘り起こしと既存取組者への技術的支援（1人）
- 輪作や緑肥の活用、捕獲作物の導入等、化学合成農薬のみに頼らないグリーン栽培の導入と面的拡大
 - ・ 葉ダイコン、ヘアリーベッチ等を活用した輪作体系の確立（184ha）
- 果樹せん定枝等を活用した炭素貯留の取組を推進
 - ・ 剪定枝の炭化と土壌還元による炭素貯留の取組を支援（5回）
- 諏訪湖の漁業振興に係る「諏訪湖創生ビジョン」の推進
 - ・ 魚食性鳥類や外来魚の対策の支援と漁業の振興に係る検討会を開催（1回）



【カワウ捕獲の試行の実施】

重点取組 5：多様な人々が暮らし・守る農村の機能とコミュニティの維持

- 農村の多面的機能を維持する地域での取組の推進
 - ・ 多面的機能支払事業による集落の共同活動への支援（96組織・集落）
- 野生鳥獣の追い払い、緩衝帯や防護柵の設置等、集落ぐるみによる鳥獣被害対策の推進
 - ・ 防除、捕獲及び環境整備等の効果的な対策を支援（11か所）
- 半農半X等、農ある暮らしの実践を支援
 - ・ 農ある暮らしサポーターと連携した農ライフ志向者への支援（セミナー2回）
- 農業法人による雇用や農福連携の拡大等、農村の新たな雇用の創出
 - ・ 福祉施設と農業のマッチング支援（2回）



【ICT活用大型捕獲檻】

重点取組 6：消費者とつながる諏訪の食

- 地元農産物を活用した食育や花育活動の推進
 - ・ 地域と連携した小学生への花育体験の実施（1校）
- 学校給食における地元農産物の利用促進
 - ・ 保育園において有機給食の提供を支援（1園）



【フラワーアレンジメント教室】

(4) 上伊那地域 ～女性・若者も参画して未来へつなぐ活力みなぎる上伊那農業～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	新規就農者数（49 歳以下）	23 人/年	18 人/年	21 人/年	18 人/年
	中核的経営体数	609 経営体	610 経営体	715 経営体	620 経営体
2	小麦の収量	215kg/10a	282kg/10a	362kg/10a	350kg/10a
	大豆の収量	150kg/10a	200kg/10a	103kg/10a	250kg/10a
	大規模水稻経営体におけるスマート農業技術導入率	25%	36%	46%	44%
	大規模水稻経営体におけるスマート農業技術導入率	25%	36%	46%	44%
3	アルストロメリアの栽培面積	14.7ha	14.9ha	14.2ha	15.2ha
	白ねぎの栽培面積	56ha	59ha	66.9ha	62ha
	アスパラガスの新・改植の増加面積	0.5ha 増/年	1.1ha 増/年	3.3ha 増/年	1.4ha 増/年
	乳用牛の 1 戸当たり平均飼養頭数	56.5 頭	67.8 頭	74.1 頭	75.6 頭
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	8,386ha	8,720ha	7,859ha	8,721ha
	野生鳥獣による農作物被害額	43 百万円	36 百万円	53 百万円	31 百万円
5	売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上高	21.7 億円	22.2 億円	22.4 億円	23.0 億円
	学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース）	52%	52.5%	48.5%	54.0%

重点取組 1：皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

- 関係機関が連携して取り組む相談活動等による新規就農者の確保
 - ・ 市町村等関係機関と連携した就農相談のための就農促進連絡会議の開催（2 回）
- 個別巡回や研修事業等により新規就農者の早期経営確立・定着を支援
 - ・ 新規就農者向け農業講座の開催（6 回）と個別巡回の実施（年 1 回以上）
- 専門家派遣や補助事業等を活用した中核的経営体の経営発展支援
 - ・ 対象 6 経営体への伴走支援（各 1 回以上）、うち 2 経営体への専門家派遣（3 回）
- 地域農業の将来像（主な作付品目、農業利用していく区域の設定、担い手確保対策等）の明確化を支援し、担い手への円滑な農地集積を推進
 - ・ 地域計画の策定に向けた巡回支援及び相談対応（8 市町村）
- 女性農業者の地域活動活性化や農業振興への参画を支援
 - ・ 女性活躍に関するアクションプラン推進のための研修会・交流会の開催（6 回）



【地域計画地区懇談会】

重点取組 2：水田農業経営体の経営発展と実需者ニーズに応える高品質米生産の推進

- 高収益作物や土地利用型作物新品種の導入と生産安定による水田農業経営体の経営体質強化
 - ・ 「ハナチカラ」施肥試験ほの設置（2 か所）と改訂版指標による指導（3 回）
- ドローンなどスマート農業技術の麦・大豆等への利用拡大による収量安定
 - ・ ドローンによる小麦の病害防除効果の検討（1 か所）
- 環境にやさしい農産物認証など、持続的で付加価値の高い米生産の推進
 - ・ 水稻特別栽培技術向上のための研修会の開催（3 回）



【ドローンによる防除試験】

- 農作業の効率化を実現するための生産基盤の整備と農業水利施設等の長寿命化対策
 - ・ 担い手への農地集積・集約を可能とする区画整理に着手（2地区）
 - ・ 農業用水を安定的に供給するため、機能診断に基づく長寿命化対策に着手（2地区）
 - ・ 高速道路を跨ぐ水路橋の耐震化対策を実施（7橋）

重点取組3：上伊那の自然環境を活かした多品目農畜産物の持続的生産の推進

- アルストロメリア・トルコギキョウの生産性向上（基本技術徹底、需要に応えるための新作型・新栽培方法の検討と技術確立）
 - ・ 害虫発生消長調査ほ場の設置（1か所）と指導
 - ・ 2回転作型試験ほでの実証（1か所）
- 白ねぎ・アスパラガス・ブロッコリーの栽培技術平準化による生産安定と生産拡大
 - ・ アスパラガス（1か所）、ブロッコリー（2か所）で排水対策試験ほ設置、検討会の開催（各1回）
- 県オリジナル品種（りんご「シナノリップ」、ぶどう「クイーンルージュ®」）等の生産拡大、担い手の確保と円滑な園地継承支援
 - ・ 7月～11月まで熟度調査を実施し、関係機関へ情報提供（11回）
- 有機農業など環境にやさしい農業の推進
 - ・ みどり交付金を活用し、地域資源を活かした有機農業の推進を支援（2市町）
- 飼養管理技術・自給飼料品質の向上、規模拡大・先進技術導入による畜産の生産力強化及び家畜防疫体制の強化
 - ・ 防疫体制の強化のための特定家畜伝染病防疫演習を関係機関と連携して実施（1回）



【トルコギキョウ試験ほ】

重点取組4：地域ぐるみで守る、二つのアルプスに囲まれた快適な農村環境

- 中山間地域等直接支払や多面的機能支払を最大限活用した農村環境の維持・保全
 - ・ 農業の生産条件が不利な地域が協働して取り組む保全活動や地域資源の質的向上に資する活動を支援（8市町村）
- 住民自らが行う地域ぐるみの野生鳥獣被害対策の実施支援
 - ・ イノシシ・シカを対象とした侵入防止柵の設置支援（2市町）と維持管理支援（1村）
- 地域の生活を支える基幹農道の改修・整備、災害を未然に防止するための水路等の補強・改修
 - ・ 県営農道整備事業により、基幹農道の路面改修及び歩道整備を実施（1か所）



【侵入防止柵機能点検】

重点取組5：生産と消費を結ぶ上伊那の食の展開

- 地域活性化や消費者ニーズに応える農産物直売所の機能強化
 - ・ 令和5年度に実施した運営案内人派遣事業に対するフォローアップ調査を実施（1回）
- 地域農業への理解を深める「食育」「農育」の推進
 - ・ 農業の歴史や農業用施設の役割を伝える小学生向けの見学会「農業用水探検隊」を実施（計16回）
 - ・ ため池の役割や魅力を発信するパンフレット・カードの製作・配布



【農業用水探検隊】

(5) 南信州地域 ～ 皆でつなぐ 南信州農業の新たな時代 ～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	新規就農者数（49 歳以下）	41 人/年	30 人/年	27 人/年	30 人/年
	I ターン就農者数	8 人/年	8 人/年	12 人/年	8 人/年
2	日本なしの早期多収省力栽培技術導入面積	4.6ha	7 ha	7.8ha	10ha
	担い手への市田柿集積面積（農地中間管理事業）	5.7ha/年	6 ha/年	13.7ha/年	6 ha/年
3	きゅうり・アスパラガス施設面積	36ha	38.0ha	38.4ha	39.5ha
	農業用ドローンによる防除面積	21ha	55ha	178ha	70ha
4	基幹的な農業水利施設の整備箇所数（計画期間内整備量）	—	2 か所	1 か所	5 か所
	防災重点農業用ため池の耐震性診断実施箇所数	9 か所	19 か所	22 か所	31 か所
5	都市農村交流人口	38,882 人	167,000 人	133,250 人	200,000 人
6	学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース）	53%	53.6%	45.4%	55%
	学校と連携した地域農産物に係る情報提供の回数	—	6 回/年	8 回/年	6 回/年

重点取組 1：皆が憧れる農業の担い手の確保・育成

- 県、市町村、J A が連携し、地域の特徴を踏まえた就農作戦会議や相談活動による担い手の確保
 - ・ 市町村・J A と連携した相談活動及び就農作戦会議の開催（全体 1 回、4 地域各 1 回）
- 研修事業及び経営発展支援等の充実による地域農業をリードする担い手の育成強化
 - ・ 就農 5 年以内の者の経営管理能力向上を目的としたスキルアップセミナーの開催（5 回）
- 中核的経営体の資質向上及び多様な担い手の支援
 - ・ 他産業従事後農業経営を開始する者等を対象にした帰農塾の開催（基礎講座 3 回、専門講座 6 品目のべ 32 回）
 - ・ 農業参入を目指す食品企業に対する農業経営改善計画の作成など基盤確立に向けた支援（打ち合わせ 7 回）



【帰農塾（きゅうり）】

重点取組 2：新技術や新品種の拡大による競争力の強い果樹産地づくり

- 日本なし産地再生プロジェクトにより、J A 等関係機関と連携し、担い手確保、新たな技術の導入及び園地の整備等に取り組み、稼げる産地の再構築を推進
 - ・ なし樹体ジョイント仕立て栽培の早期成園化・優良園地育成のための検討会の開催（3 回）、新規就農予定者を対象としたサンデー日本なし講座の開催（6 回）
 - ・ 「天空のしずく」のモデル園の設置（1 か所）及び現地導入に向けた検討会の開催（3 回）
- 市田柿の円滑な樹園地継承と「市田柿＋α」複合経営の推進
 - ・ 市田柿ブランド推進協議会等と連携した樹園地継承の検討（1 回）、栽培・加工技術研修会（2 回）の開催
 - ・ 新規就農希望者及び里親研修生への「市田柿＋きゅうり」複合経営モデルの提案（5 人）



【天空のしずく現地検討会】

重点取組 3：南信州らしさを生かした複合産地の構築

- きゅうり・アスパラガス・白ねぎの生産安定
 - ・ 担い手によるきゅうりの産地力強化のための意向調査（1 回）、優良事例収集とデータ

分析の実施

- 南信州牛（信州プレミアム牛肉を含む）・銘柄豚などの生産拡大及び家畜防疫対策の徹底
 - ・ 農場 HACCP の啓発及び飼養衛生管理基準の周知等による家畜防疫対策の徹底（肉牛農家 88 戸、養豚農家 12 戸、養鶏農家 11 戸）
- スマート農業技術の導入による省力化や生産性向上の推進
 - ・ 農業用ドローンを利用した水稻斑点米カメムシ類等の集団防除の取組拡大支援（2 か所）及びスマート農業ミニ講習会（環境モニタリングシステム）の開催（1 回）
- 環境への負荷を低減した有機農業等の環境にやさしい農業の推進
 - ・ いちごのグリーンな栽培体系の検証（実証ほ 1 か所）
- 気候変動に対応した技術の導入及び経営継続のためのリスク対策の推進
 - ・ 施設園芸（野菜及び花き）における暑熱対策の優良事例収集及び検討会開催（4 経営体）



【グリーンな栽培体系検討会】

重点取組 4：皆でつなぐ豊かな農村

- 地域の話合いにより守るべき農地と担い手を明確化
 - ・ 地域計画策定のための地域の話合いや目標地図の素案づくりを支援（14 市町村）
 - ・ 地域計画の策定を通じた担い手の確保と農業基盤の整備を推進（1 地区）
- 伝統野菜や茶などの豊かな食文化や栽培技術の継承を支援
 - ・ 生産者や飲食店等で組織する「南信州伝統野菜協議会」の設立支援（3 回）
 - ・ 茶産地維持のための有機栽培体系の実証試験の実施（3 か所）、共進会の実施（1 回）
- 集落機能を維持するため、野生鳥獣被害対策などを支援
 - ・ サル、ハクビシン等を対象とした電気柵の展示・設置（2 か所）と設置講習会の開催（2 回）
- 農村の多面的機能の維持と活用促進
 - ・ 多面的機能支払交付金を活用し、農地・水路・農道等の保全活動及び補修・補強・更新等の質的向上活動を支援（12 市町村）
- 水路など農業用施設の長寿命化、農村地域における防災対策の推進
 - ・ 竜東一貫水路の補修工事の実施（2 か所）及び機能保全計画（令和 7 年度以降の補修計画）の策定、防災重点農業用ため池の耐震性診断を実施（5 か所）



【南信州伝統野菜協議会によるPR】

重点取組 5：リニア新時代 世界に通用する農村交流の体制構築

- つながり人口増加を見据えた直売所の支援、「観光＋農業」の推進
 - ・ クラインガルテン利用者の栽培技術向上支援及び地域住民組織との交流促進支援（5 回）
- 伝統野菜、南信州牛など地域食材等を取り入れた「食」を介した交流の促進
 - ・ 生産者と飲食店の連携による地域食材（伝統野菜）の魅力を発信するイベントの開催支援（1 回）
- 食品企業等との連携による地域農畜産物の活用を促進
 - ・ 日本なしを使用した菓子等商品開発の支援及びPRの実施（13 事業者、18 商品）



【クラインガルテン利用者栽培講習会】

重点取組 6：農や食への理解醸成

- 農業体験会の開催など教育現場や飲食店関係者等との協働による食育・農育の強化
 - ・ 小学生を対象とした市田柿の食育事業を実施（4 校）
- エシカル消費を推進するため、地域農畜産物などの利用を促進
 - ・ 教育事務所と連携し、飯田下伊那栄養教諭・学校栄養職員部会へ地域農産物利用促進に向けた情報を提供（8 回）
- 市田柿など地域農畜産物の魅力発信
 - ・ 市田柿ブランド推進協議会と連携し、県外イベント等での市田柿のリーフレットの配布による情報発信（1 回）



【市田柿の食育事業】

(6) 木曽地域 ～ 未来につながる木曽の豊かな農業・農村と食 ～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	地域計画の数	0	22	15	22
	新規就農者数 (49 歳以下)	3 人	2 人	2 人	2 人
2	米の 1 等米比率	78.9%	83%	67%	85%
	御嶽はくさい栽培面積	50ha	48ha	43ha	45ha
	木曽子牛出荷頭数	5.7 頭／戸	5.9 頭／戸	5.3 頭／戸	6.0 頭／戸
	花き・花木類の栽培面積	2.3ha	2.4ha	2.4ha	2.4ha
3	野生鳥獣被害額	12.8 百万円	12.3 百万円	10.2 百万円	11.8 百万円
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	493ha	489ha	485ha	489ha
	農業用水を活用した小水力発電の設備容量	34.4kw	366kw	366kw	366kw
4	伝統食材提供店舗数（木曽牛、すんき、木曽産そば）	57 店	58 店	57 店	60 店
	伝統野菜の栽培面積（王滝蕪他 6 品種）	2.1ha	2.1ha	1.9ha	2.1ha

重点取組 1：多様な担い手が支えあう木曽の農業・農村

- 地域計画の作成に向け関係機関が一体となって町村毎の意向調査の実施、「協議の場」の開催（4 月～1 月）、その後、意見集約（計画の公表数 15（90 集落））
- 農業入門講座を開催（12 回、10 名参加）
- 木曽青峰高等学校と農業者が連携した「農業の魅力発見セミナー」を主催し、地場産品の魅力を理解する講座を開催（講座 4 回延べ 101 人参加）



【地域計画目標地図の検討】

重点取組 2：木曽ブランドを支える産地づくり（土地利用作物、園芸品目、畜産振興）

- 斑点米の減少に向けたドローンによる 2 回防除の効果検証と啓発活動
 - ・ 標高を変えた試験ほ場 3 か所で防除効果を確認（成果報告 3 回、防除基準改正）
 - ・ 発生情報と登熟積算気温情報に基づく適期収穫の啓発（7～8 月 3 回）
- スマート農業技術等の導入による御嶽はくさいの品質及び生産性の向上
 - ・ 開田高原 5 ほ場にて土壌診断結果に基づき、①基肥の窒素 2 割減肥、②基肥及び追肥の窒素 2 割減肥試験の実施（成果報告 11 月 1 回）
- 畜産クラスター協議会と連携したクラスター事業の推進



【新規就農者との土壌断面調査】

- ・ 郡内畜産クラスター協議会における補助事業を活用した農家の経営発展（5 協議会 11 経営体）
- ・ 和牛繁殖技術向上研修会の開催（1 月 1 回）
- ・ 優良子牛生産の支援（ジャケット購入費を補助）

○ 地域に適応した花き・花木の生産支援

- ・ 啓翁桜早期出荷に向けた栽培管理指導（大桑村）定植 4 年目（大桑村ほ場）を拠点に、栽培管理の検討、新規栽培者向けの講習会を開催。ふかし（促成栽培）の講習会を開催（2 回）
- ・ 新規花木品目（10 品目）から、ディアボロ栽培マニュアルの作成（上松町）ミズキ、アナベル、バッカリス等の品目検討。その他品質向上技術の検討実施
- ・ 啓翁桜と新規花木の中間検討会の開催（8 月 1 回）



【ディアボロ現地視察】

重点取組 3：みんなが生き生き暮らせる、持続可能な農村づくり

○ 関係者一丸となった捕獲、防除、環境整備等の野生鳥獣被害対策の推進

- ・ 鳥獣被害防止対策交付金事業の活用と、既設の電気柵及び侵入防止柵の点検巡回による被害軽減の推進（6 協議会、事業費総額 7,523 千円）
- ・ 整備事業（2 町村）、推進事業（6 町村）で実施。侵入防止柵の設置、箱わな・くくりわな、ニホンザル用の GPS 首輪等の購入や緩衝帯整備等を実施
- ・ 電気柵等の適切な設置点検巡回を夏季に実施し、適切な管理を指導（5 町村 6 地区）

○ 多面的機能支払事業の事務手続き研修会、水路等の維持補修に関する講習会等の開催（7 回）上記研修会及び講習会を上松町（2 組織）、南木曽町（5 組織）、木曽町（3 組織）大桑村（1 組織）で開催（8 月～12 月）



【小水力発電所研修会】

○ 農業用水を活用した小水力発電施設の整備推進及び技術的支援

- ・ 管内町村担当者の現地研修会を開催（11 月 1 回 11 名）、他図上における適地調査（木曽町他 2 箇所）

重点取組 4：木曽ならではの食による地産地消と食育の推進

○ 「木曽ならではの食材」を扱う店舗と連携した木曽地域の魅力発信

- ・ 関係団体等と連携し、地域振興推進費を活用し、神戸（8 月）名古屋（10 月）東京（12 月）名古屋・松本市（1 月）で木曽地域農産物認知度向上事業を実施

○ 小中学校を対象とした食育授業等による地元農産物への理解促進と地産地消

- ・ 関係団体等と連携した王滝小学校で「信州の伝統野菜」学校栽培支援事業を実施
- ・ 木曽管内の小中学校 15 校で「木曽牛給食の日」として木曽を提供



【王滝小学校のすんき授業】

(7) 松本地域 ～持続可能な農業新時代～継承しよう豊かな食と農～

達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	1,924 経営体	1,980 経営体	2,021 経営体	2,040 経営体
	新規就農者数 (49 歳以下)	34 人	27 人	29 人	27 人
2	りんご高密度植栽培導入面積	116ha	134ha	143ha	150ha
	小麦「しろゆたか」の栽培面積	1 ha	250ha	495ha	250ha
	夏秋イチゴ「サマーリリカル」の生産量	18 t	21 t	11t	27 t
	自給飼料作物の栽培面積	478ha	482ha	480ha	485ha
3	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	2 か所	3 か所	3 か所	4 か所
4	農業用ため池の地震耐性評価の実施箇所数	27 か所	63 か所	66 か所	95 か所
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	11,622ha	11,845ha	11,818ha	11,846ha
5	学校給食における県産食材の利用割合 (品目ベース)	54.0%	54.6%	56.9%	56.0%

重点取組 1：農業を担う経営体の育成と人材の確保

- 新規就農者の確保及び栽培技術・経営管理の習得等による育成と地域への定着を支援
 - ・ 県農業大学校において就農がイグナスを開催し、学生の就農意欲向上を図るとともに、就農準備段階で活用可能な資金の申請を支援（1 回、20 人）
 - ・ 新規就農者の資質向上を目的にアグリマスターセミナーを開催し、農業経営に必要な技術・経営管理能力の習得・向上を支援（8 回、30 人）
- 地域計画（人・農地プラン）の実行や、担い手を対象とした支援策の活用等による中核的経営体の確保・育成と経営の安定・発展を支援
 - ・ 農業委員会や集落懇談会への参画等により、管内市村の地域計画策定を支援（8 市村）
 - ・ 懇談会等における助言や補助事業の活用等を通じ、集落営農組織の法人化や機械などの導入による担い手の経営安定・発展を支援（18 経営体）



【地域計画策定懇談会（山形村）】

重点取組 2：持続的な農畜産物の生産と安定供給

- 環境負荷低減技術、温暖化に対応した生産技術及びスマート農業の拡大を支援
 - ・ 乗用除草機、除草ロボット等の水田除草機による防除効果を検証（試験ほ 1 か所、実演会・成績検討会及び成果報告会 各 1 回）
 - ・ ロケットボウの導入効果検証と周知活動を実施し、樹園地における凍霜害対策を推進（1 か所、効果確認試験の報告 5 回）
- 県育成品種の生産拡大と品質向上を支援
 - ・ りんご「ナリッパ」のモデル園を設置（1 か所、成熟度調査 5 回）するとともに、薬剤摘果に関する調査の実施及び生産者等へ調査結果の周知を行い、栽培面積の拡大を推進（検討会 2 回）
 - ・ 飼料用イネの多肥栽培時の生育特性を把握するための展示ほを設置し、栽培面積の拡大を推進（1 か所、検討会 1 回）



【水田乗用除草機実演会（安曇野市）】

○ すいか、ながいも、わさび等の地域ブランド品目の生産安定と販路拡大を支援

- ・ ながいものかん水の有無による生育・品質の違いを把握するための試験ほを設置し、収量性向上に向けたかん水効果を検証（2か所、検討会2回）

○ 飼養衛生管理の徹底及び危機管理体制の強化

- ・ 連絡会議や高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した防疫演習を開催し、関係機関の連絡強化と防疫体制を確認・整備（連絡会議、防疫演習各1回）



【防疫演習（安曇野市）】

重点取組3：基盤整備の推進と農地の効率的活用

○ 営農効率を高めるため、水田の汎用化等の基盤整備を推進

- ・ 農地の大区画化や畑地かんがい施設の更新整備により、担い手農家への農地集積・集約化を推進（8地区）

○ 水管理の省力化と用水の安定供給を図るため、長寿命化計画に基づく水利施設の更新を推進

- ・ 長寿命化計画に基づく基幹水利施設の更新を実施（1地区）
- ・ 市村及び土地改良区が行う長寿命化計画の策定及び支線水利施設の更新を支援（4市村ほか）



【畑地かんがい施設 洗馬妙義地区（塩尻市）】

重点取組4：安全安心で持続可能な農業・農村の活性化

○ 対策が必要な防災重点農業用ため池の地震耐性評価と防災工事の実施

- ・ 豪雨対策、地震対策が必要な農業用ため池施設の地震耐性評価（8か所）と防災工事（1か所）を実施
- ・ 市村が行う地震耐性評価（13か所）と防災工事（6か所）を支援（4市村）



【防災工事（ため池） 本山地区（塩尻市）】

○ 用水路等の維持や農産物生産の継続のほか、住民参加による地域活動の活性化を支援

- ・ 多面的機能支払や中山間地域農業直接支払により、住民の共同活動による農村の多面的機能を持続的に発揮するための取組を支援（8市村）

○ 野生鳥獣による被害軽減のための防護柵の設置・管理など地域ぐるみの取組を促進

- ・ 農作物鳥害対策講習会の開催を支援し、有効な鳥害対策を推進（1回、8協議会）
- ・ 課題に応じた地域ぐるみで取り組む鳥獣害対策を推進し、住民主体による対策の実践を支援（6地域）



【サル対策電気柵設置研修会（松本市）】

○ 風食対策に向けた緑肥作物等の利用促進

- ・ 技術実証ほ場視察や課題を栽培方法等についての研修会を開催し、麦類以外の緑肥作物による取組拡大を推進（検討会2回）
- ・ 緑肥、グラントカバープランツの活用に関するマニュアルを作成し、現地における取組の普及拡大を推進（資料作成、啓発活動各1回）

重点取組5：松本地域の食材を活かした地産地消や食育活動の推進

○ 農業体験や地域の食文化の伝承など食育活動を行うグループの育成と活動を支援

- ・ 関係機関と連携し、小学生を対象とした「りんご学習会」の開催を支援（5回、155人）
- ・ 農村生活マイスターと連携し、住民向け料理講習会など食育活動の実施を支援（11回、135人）



【羽淵キウリ講習会（塩尻市）】

（８）北アルプス地域 ～「人」と「食」がにつながる北アルプス山麓の農業農村～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	423 経営体	460 経営体	420 経営体	500 経営体
	新規就農者数（49 歳以下）	4 人/年	6 人/年	6 人/年	6 人/年
2	大規模水稻経営体におけるスマート農業技術導入率	38%	48%	63.8%	57%
	機械収穫適性に優れた大豆品種「すずみのり」の栽培面積	5 ha	100ha	80ha	100ha
	信州の環境にやさしい農産物認証制度取得面積・認定件数	156.1ha 44 件	160.0ha 45 件	105.1ha 36 件	170.0ha 49 件
	稼ぐ産地を支える基盤整備（区画拡大等）の実施面積（累積）	27.0ha	37.2ha	37.2ha	82.0ha
3	高収益作物の導入を可能にする農地の整備面積（累積）	3.1ha	5.4ha	5.4ha	13.0ha
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持発揮するための活動面積（多面的機能支払＋中山間直払）	4,122ha	4,202ha	4,238ha	4,202ha
	農業用水を活用した小水力発電施設の設置箇所数	1 か所	1 か所	0 か所	2 か所
5	北アルプス山麓ブランド認定品目数	123 品	136 品	139 品	140 品
6	学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース）	47%	45%	48.0%	48%
	食農教育、農業・農村体験交流活動の実施回数	33 回	30 回	36 回	35 回

重点取組 1：北アルプス地域の農業を支える担い手の確保・育成

- 北アルプス地域農業の将来像の明確化による担い手確保と農地集積の推進、人・農地プランの法定化に伴う「地域計画」の策定を推進
 - ・ 市町村工程表に沿った、現地支援チームによる進捗支援（計 50 回）
- 北アルプス農業をけん引する中核的経営体の確保・育成を図るため、就農サポートと経営サポートを一元化した支援体制を構築
 - ・ 農業経営者総合サポート事業による経営改善支援（2 経営体）
- 新規就農者の確保・育成と、支え手として多様な人材の確保
 - ・ 新規参入希望者、親元就農者に対する就農支援（相談 14 名）
 - ・ 里親農業者の新規登録支援（2 名：水稻 1 名、果樹 1 名）
 - ・ 里親研修修了者の技術力・経営力の向上支援
（就農 5 年以下 1 名：月 1 回巡回）
 - ・ 農福連携事例の周知と、福祉事業所（3 か所）と農業者（2 者）のマッチング支援（果樹・野菜）



【地域計画策定の様子】



【就農相談会 11 月】

重点取組 2：新技術の活用、持続可能な生産、稼ぐ産地を支える基盤整備の推進

- 高密度播種育苗・精密田植え技術など新技術を活用した低コスト・省力稲作の推進及びスマート農業技術の活用による生産の効率化
 - ・ 低コスト・省力稲作新技術の導入実証
水稻直は現地試験（3 か所 5～10 月（大町市、池田町））
 - ・ スマート農業技術によるコスト低減実証
可変施肥田植え試験実施（2 か所（大町市））



【自動運転コンバイン実演会 9 月】

- 環境負荷を低減した持続的な農業（有機農業など）の面的拡大を推進
 - ・ 環境認証制度等の活用促進（新規及び再認定に向けた個別相談随時）（36 件、105.1ha）
- 中核的経営体の経営安定に向けた基盤整備事業の推進及び導入品目の生産安定等を支援
 - ・ 担い手の規模拡大を支援する経営体育成基盤整備事業の推進（2 地区）

重点取組3 マーケットニーズの高い園芸作物の産地づくり

- りんご、ぶどう等県オリジナル品種を中心とした新植及び改植、園地更新等の推進及び品質向上に向けた技術支援を実施
 - ・ 安定生産のための基本技術の励行（栽培管理講習会 3 回、6 会場）
 - ・ 新規栽培者への基本技術取得支援（ぶどうセミナー開催 7 回）
- 水田への収益性の高い新たな品目導入のために、必要な機械等の導入に向けた補助事業等の活用支援
 - ・ 収益性の高い新たな品目における作業の効率化を図るための作業機の現地実証（4 経営体 白ねぎ及びジュース用トマト）



【ぶどうセミナー（剪定）2 月】

重点取組4：暮らしの場としての農村の振興

- 多面的機能を維持するため、地域住民を主体に企業との連携による地域ぐるみの協働活動のほか、住民主体で行う野生鳥獣被害防止対策の取組支援
 - （5 協議会、侵入防止柵設置（9,516m）等）
- 農村型の地域運営組織の組織化による農村コミュニティの維持
 - ・ 先進事例の研修会等による地域組織への制度周知等（1 回、11 月）

重点取組5：北アルプス山麓ブランド等を活用した地域振興

- 気象条件や立地条件など北アルプス山麓の特色を活かし生産された農畜産物や加工品を「北アルプス山麓ブランド」として認定
 - ・ 新たな地域特産品の北アルプス山麓ブランド品としての認定（新規 6 品、再認定 27 品）
- 北アルプス山麓ブランド認定事業者に対する輸出に向けた支援の実施
 - ・ 北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会と連携し、台湾向け輸出に係る事業者とバイヤー間の調整を実施（4 回（4～1 月））
- 観光業者と連携した販売促進の実施
 - ・ 台湾への輸出、販売定着に向け物産展の開催（5/31～6/2 台中市「裕毛屋」）
 - ・ 国内での販売促進、PR のために物産展を開催（9/7 松本市 駅前、9/11 名古屋市 中日ビル）



【北アルプス山麓物産展 in 台湾 10 月及び販売促進 PR】

重点取組6：多彩な農村資源を活用した食の地消地産と食育の推進

- 学校給食等給食事業者が求める農産物の生産組織の育成と供給体制の整備
 - ・ 推進会議の開催支援（3 回（5～7 月）、校長及び栄養教諭等）
 - ・ 農村生活マイスターを核とした食材提供用農畜産物の栽培技術支援（小谷村 指導 1 回 5 月）
- 農村生活マイスター等を核とし、栄養教諭等と連携した児童・生徒への食育活動による次世代への食文化の継承
 - ・ 北アルプス山麓おむすびプロジェクトと連携し、農業や農産物等の学習を行っている学校（学級）に対し地元食材を提供し、食育活動を支援（10/22: 白馬南小学校、11/8: 大町中学校、11/25・12/12: 白馬北小学校）
- 観光と連携した学習旅行等の受け入れ、収穫体験等の充実
 - ・ 地域食材活用学習会（9/4, 77 名、小谷村）



【北アルプス山麓おむすびプロジェクト】
白馬北小学校（上）、大町中学校（下）

(9) 長野地域 ～人と人がつながり力強く未来へ躍進する長野農業～

達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	1,479 経営体	1,580 経営体	1,644 経営体	1,650 経営体
	果樹の新規就農者数	36 人/年	30 人/年	27 人/年	30 人/年
2	りんご高密度植栽培導入面積（新わい化栽培含む）	139ha	148ha	139ha	157ha
	果樹県オリジナル品種等の栽培面積	1,473ha	1,520ha	1,834ha	1,550ha
	畑地かんがい施設により用水が確保された農地面積	—	280ha	470ha	650ha
	果実産出額	335 億円 (2020 年度)	340 億円	381 億円 (2023 年度)	354 億円
3	軽量野菜（ピーマン）の共同選果調製施設の利用率	—	70%	72.8%	70%
	化学合成農薬・化学肥料を原則 50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	306ha	383ha	308ha	470ha
	スマート農業技術導入経営体数	14 経営体	24 経営体	41 経営体	42 経営体
4	農村型の地域運営組織（農村 RMO）数	0 組織	1 組織	2 組織	1 組織
	野生鳥獣による農作物被害額	95,170 千円	92,590 千円	100,512 千円	90,000 千円
5	排水機場の更新等により安全が確保された地域面積	—	400ha	381ha	570ha
	水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数	16 か所	20 か所	30 か所	25 か所
6	売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上高	20.7 億円	21.2 億円	37.6 億円	22.0 億円
	学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース）	50%	50.5%	45.1%	52%

重点取組 1：長野地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成

- 長野地域の農業をけん引する強く柔軟な経営体を育成
 - ・ 経営体の課題解決を支援するため、中小企業診断士等を派遣（4 経営体）
 - ・ 農地を次世代に引き継ぐため、「地域計画」の策定を支援（9 市町村、59 地区）
- 新規就農者の安定確保と技術力・経営力の向上を支援
 - ・ 就農相談会（12 回）・技術習得セミナー等（6 回）の開催及び就農計画の作成を支援（13 名）
- 雇用労働者の安定確保のための労働環境整備を推進
 - ・ 農業バイトマッチングアプリの利用促進のため、民間企業・大学の訪問（20 か所）等周知活動を実施
- 多様な人材による支え手の確保を支援
 - ・ 農産物集出荷場への農福連携の周知と「お試しノウフク」の実施（2 事例）



【地域計画策定に向け熱心な議論】

重点取組 2：全国トップクラスの果樹産地づくり

- 適地への省力化栽培技術導入や改植等によるりんご・ももの産地力向上を支援
 - ・ 防霜ファンの設置支援（10 か所）と凍霜害防止キャラバン隊による啓発等の実施（5 回）
 - ・ テレビ放送による地元果物の魅力を発信（3 回）、認知度向上に向け市町村と連携しホテルへ食材等を提供（12 施設）
- 県オリジナル品種等の戦略的導入とハウス・冷蔵庫の整備によるぶどう産地の発展を支援
 - ・ りんご「シナノリップ」、ぶどう「クイーンルージュ®」の栽培実証ほの設置（10 箇所）
- 担い手への優良農地の利用集積や樹園地継承を促進
 - ・ 樹園地継承を図るため優良品種への改植等を支援（32.8ha）
- 果樹栽培を支える畑地かんがい施設を整備
 - ・ 耐用年数を超過した管水路の更新及び散水施設の新設を実施（7 地区）
- 脱炭素化技術の導入や異常気象等に強い技術の普及による気候変動対策



【収量・品質向上に向け樹園地に畑地かんがい施設を整備】

- ・ りんごの着色系品種の検討（検討会2回）、果樹せん定枝の適切処理を啓発
- 産地強化につながる輸出拡大
 - ・ 輸出国の植物検疫措置に即した生産園地の巡回及び防除等技術指導の実施（4回）

重点取組3：長野地域の特色を生かした農畜産物の安定生産

- 高収益作物の導入による水稻経営体の経営力強化を支援
 - ・ 国事業による麦大豆の収穫調整機械等の導入を支援（3箇所）
- ピーマン等軽量野菜の生産拡大と品質向上を支援
 - ・ ピーマンの新規生産者確保に向けたセミナーの開催
（8回、新規栽培開始64名）
- トルコギキョウ等需要に対応した花きの生産安定を支援
 - ・ トルコギキョウ土壌病害の効果的な防除方法の検討
（試験ほ設置1、研修会1回）
- きこの病害虫対策と経営安定を支援
 - ・ きこの培地資材等の価格高騰対策と能登半島地震被災農家への支援（118経営体）
- 環境にやさしい農業を推進
 - ・ 信州の環境にやさしい農産物認証制度の周知と認定を支援（75件、237ha）
 - ・ 学校給食への地元有機農産物の提供を支援（12回）
- 品目や地域の条件に適したスマート農業技術の普及を推進
 - ・ ドローンを活用したハウストマトの高温防止資材散布実証検討会を開催（20名）
- 経営基盤の維持、強化による健全で持続可能な畜産経営を推進
 - ・ 特定家畜伝染病の防疫演習の実施（1回）、家畜排せつ物管理施設の整備支援及び施設巡回の実施（43農場）
- 栽培に不可欠な農業用水を安定供給する農業水利施設を整備
 - ・ 基幹的揚水機場の実施設計及び水路トンネルの改修を実施（2地区）



【ピーマン導入に向けたセミナー】

重点取組4：多様な人材で支え、皆で取り組む農村づくり

- 地域住民と農村移住者の協働や関係人口との連携による地域農業への理解を促進
 - ・ 地域住民や農業者が協働して行う農地・農業水路等の保全活動を支援（128組織）
- 農村型地域運営組織（農村RMO）の構築による農村コミュニティの維持を推進
 - ・ 農村RMO組織の自走に向けた伴走支援を実施（2地域協議会）
- 野生鳥獣から農作物を守る地域ぐるみの取組を支援
 - ・ ニホンザル等に関する被害防止研修会の開催（1回）と啓発活動の実施

重点取組5：いつまでも安心して暮らせる農村づくり

- 千曲川沿いの排水機場ポンプ設備の更新・増強を推進
 - ・ 機能が低下した施設の更新及び排水量の増加に対応したポンプの増強を実施（6機場）
- ICTを活用した水門の自動化・遠隔化を推進
 - ・ 大雨時に用排水路の水位を感知して自動で開閉する水門の整備工事を支援（9か所）
- 排水機場のしくみと役割を紹介する学習会を実施
 - ・ イベント等での啓発や地域の小学生を対象とした施設の学習会を開催（2回）

重点取組6：長野地域で守り育てる食の継承

- 農産物直売所の販売力強化及び農産物加工組織の活性化を支援
 - ・ 直売所マップの作成と加工組織間の交流を支援
 - ・ 農産物直売所の課題解決を支援（2か所）
- 伝統野菜、そば、郷土食など長野地域で守り育てた食の継承を支援
 - ・ 信州伝統野菜認定制度に基づく新規認定を支援（2品目）
 - ・ 学校における伝統野菜の栽培体験（1校）、農業高校と連携した「小森茄子」の生産拡大を支援



【高校生と小森茄子について対話】

(10) 北信地域 ～ 未来につなげ！ 人と地域が織りなす 北信州の食と農 ～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	1,219 経営体	1,225 経営体	1,390 経営体	1,250 経営体
	新規就農者数（49 歳以下）	20 人/年	31 人/年	53 人/年	31 人/年
2	化学合成農薬・化学肥料を原則 50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	401 ha	506 ha	475 ha	610 ha
	農業用ドローンによる防除面積	45.2 ha	55 ha	51.6 ha	70 ha
3	果樹県オリジナル品種等の栽培面積	460 ha	524 ha	470.7 ha	620 ha
	野菜・花き振興品目の栽培面積	598 ha	626 ha	154.9 ha	670 ha
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,266 ha	4,192 ha	4,165 ha	4,200 ha
5	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	4 か所	7 か所	8 か所	9 か所
	湛水被害から農村を守る排水機場のポンプ設備の更新機数	—	0 機	0 機	4 機
6	農産物直売所の売上高	18.3 億円	20 億円	25 億円	23 億円

重点取組 1：人材の確保と皆が憧れる経営体の育成

- 農業経営者総合サポート事業等の活用による中核的経営体の経営発展への支援
 - ・ 重点支援対象者（13 人）への巡回等の伴走支援と専門家派遣（4 回）による課題解決を支援
 - ・ 「雇用・労務管理」のポイント等の理解促進を図るため、農業経営セミナーを開催（1 回）、併せて個別経営相談を実施（4 経営体）
- 「北信州農業道場」等による新規就農者育成と多様な担い手の確保
 - ・ 意欲ある新規就農者を地域の担い手として育成・定着するため、北信州農業道場の品目別コース（ぶどう、野菜・花き）と選択別講座（5 講座）の開催
 - ・ 新規就農者、北信州農業道場の受講生等の交流を促進するため青年農業者の課題解決発表の交流会を開催（1 回）
- 担い手の経営を支える雇用労働力の確保に向けた支援
 - ・ 果樹生産における農作業労働力確保の体制構築に向けた農作業入門講座の開催及び 1 日農業バイトアプリの利用を推進（3 回）
- 地域農業を支える多様な担い手の生産設備整備等の支援
 - ・ 白ネギの育苗ハウス導入支援



【北信農業道場の講座風景】

重点取組 2：環境にやさしい農業の取組とデジタル技術等の活用

- 環境負荷を低減した環境にやさしい農業の推進と安全安心な農畜産物生産への支援
 - ・ グリーンな栽培体系への転換のための緑肥を活用した実証ほ設置（3 か所）
 - ・ 中干し期間の延長による水田からのメタンガス発生抑制の講習会（2 回）
 - ・ 展示ほを設置（1 か所）し、環境にやさしい栽培体系への転換を支援

重点取組 3：マーケットニーズに対応した北信の農畜産物の生産強化

- 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の安定生産と収益性の高い米生産を推進
 - ・ 温暖化の中で米の品質向上を図るため、施肥に関する試験ほの設置（1 か所）と研修会を実施
 - ・ 需要にこたえる品質の高い酒米生産のため、JA と連携し指導会を開催（4 回）
- 果樹県オリジナル品種等の生産拡大と高位安定生産を推進
 - ・ クイーンルージュ®の着色安定技術の検討と収穫適期を把握し、検討会（1 回）を実施
 - ・ 産地生産基盤パワーアップ事業等を活用したぶどう棚の整備や冷蔵庫等のリース導入支援
- 野菜・花き振興品目の生産を推進
 - ・ アスパラガスの生産振興のため、枠板式高畝栽培、自動かん水システム、短期完結栽培等の

- 高単収省力化技術の実証と、雨よけ栽培モデルほ場（3か所）を設置
- 信州の伝統野菜の品質向上と収量確保のため、現地指導会を開催（3品目各2回）
- シャクヤクの安定生産に向け、露地栽培の凍霜害対策実証モデルほ場を設置（2か所）
- トルコギキョウの安定生産に向けた土壌消毒実証ほ場（1か所）を設置



【ジュース用トマト】

- きのこの栽培環境対策と異物の混入防止及びGAP手法に基づく衛生管理基準の強化
 - 異物混入防止のため、JAと連携して現地巡回を実施し改善策を提案（55施設）
 - JGAP等認証取得を推進（ASIAGAP取得支援1件）
- 家畜の飼養衛生管理及び危機管理体制の強化
 - 家畜防疫対策強化に向け、特定家畜伝染病の防疫演習を実施（1回）、飼養衛生管理の徹底を推進

重点取組4：農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- 「地域計画」に基づく適切な農地利用
 - 「地域計画」策定に向けた検討会等の開催を支援（41回）
 - 荒廃農地の発生防止と活用を図るため、そば、さつまいもの栽培指導会（計2回）を開催
- 地域ぐるみで取り組む多面的機能の維持
 - 農地、水路・農道等の保全活動等を行う地域ぐるみの共同活動に必要な多面的機能支払事業の活動組織に対する研修会を実施（6市町村）
 - 地域資源の保全や生活支援など集落維持に取り組む地域運営組織（農村RMO）への支援（1組織）
- 美しい棚田や起伏のある地形から生まれる農業用水のもつポテンシャルなど地域資源を生かした農村の活力創出
 - 農業資産を核とした地域学習の取組支援（1か所）
- 野生鳥獣被害の実態に応じて総合的に実施する地域ぐるみの被害防止対策を関係機関連携により支援
 - 広域電気柵の適正な維持管理指導のため、パトロールを実施（2回）
- 雪室等地域資源を活用した農産物の高付加価値化の取組を支援
 - ブランド米の雪室活用による食味維持試験を実施（3回）



【地域計画検討会】

重点取組5：安全安心で持続可能な農業・農村の基盤づくり

- 農産物の安定生産と品質確保に必要な農業用排水施設と畑地かんがい施設の計画的な長寿命化
 - 果樹産地の畑地かんがい施設の計画的な更新（1地区）
 - 基幹水利施設の計画的な更新に向けた改修計画の策定支援（2地区）
 - 小規模な水利施設の長寿命化対策に係る支援（9地区）
- 頻発化・激甚化する災害から暮らしを守る農業・農村の強靱化
 - 湛水被害から農村を守る排水機場の整備（2地区）
 - 防災重点農業用ため池の地震耐性評価を実施（5池）
 - 地すべりのおそれがある地域における防止工事を実施（4地区）
- 農業用ため池などを活用した流域治水対策への支援
 - 市町村が行うため池を活用した洪水調整機能強化に対する支援（1地区）
- 「地域計画」に基づいた稼ぐ産地を支える基盤整備の推進
 - 地域が考えるの営農の実現に向けた基盤整備への計画策定支援（2地区）
- 中山間地域など地域の実状に応じたきめ細かな基盤整備の推進
 - 中山間地域における農業を核とした地域活性化のため必要な農業基盤整備を実施（1地区）



【地すべり防止工事】
（排水路工）

重点取組6：食の地産地消の推進と次代への伝承

- 飲食店・宿泊施設等関係事業者と連携した地域食材を提供する機会の拡大
 - 関係機関一体となり飲食店等における地元食材を活用したフェアを開催（1回）
- 学校や地域において、次代を担う子供たちを中心に食育を推進
 - 給食事業者等と連携した収穫体験等の食育を開催（4回）



【栽培きのこの収穫体験】

第 6 章

参考資料

- ・ 令和 6 年度 主な農業関係表彰事業受賞者一覧

令和6年度 主な農業関係表彰事業 受賞者一覧

1 全国表彰

表彰行事名	表彰の名称	受賞者	
		氏名	市町村名等
令和6年秋の叙勲	旭日単光章 (土地改良事業 功労)	平井 眞一	箕輪町
第84回中日農業賞	優秀賞	仁科 祐樹	大町市
令和6年度関東農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰	関東農政局長賞	綿内東町地区農地中間管理機構 関連農地整備事業実行委員会	長野市
令和6年度(第63回)農林水産祭 (多角化経営部門)	天皇杯	株式会社なかひら農場	松川町
	日本農林漁業振興会会長賞	株式会社かまくらや	松本市
令和6年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール (GAP部門)	農林水産大臣賞	長野ハヶ岳農業協同組合	南牧村
農林水産省料理人顕彰制度 「料理マスタース」 令和6年度(第15回)	ゴールド賞	北澤 正和	佐久市

2 県域表彰

表彰行事名	表彰の名称	受賞者		受賞部門
		氏名	市町村名等	
令和6年度知事表彰	知事表彰	矢花 平太郎	松本市	産業功労者
		萱間 茂美	飯田市	産業功労者
令和6年度 園芸特産業関係功労者 表彰	知事表彰	三村 貞美	飯田市	果樹（りんご）
		猿田 勝文	大町市	水産
		ながの農業協同組合 飯綱りんご部会	飯綱町	果樹（りんご）
		児玉 善郎	山ノ内町	水産

行事名	賞の名称	受賞者		受賞部門・受賞品
		氏名	市町村名等	
【農林水産祭参加行事】				
第 57 回うまいくだものコンクール （ぶどうの部）	農林水産大臣賞	竹前 昭子	須坂市	ぶどう（ナガノパープル）
	農林水産省農産局長賞	渋谷 光太郎	須坂市	ぶどう（ナガノパープル）
	長野県知事賞	伊藤 秀樹	長野市	ぶどう（ナガノパープル）
第 57 回うまいくだものコンクール （りんごの部）	農林水産大臣賞	古幡 豊和	山ノ内町	りんご（シナノスイート）
	農林水産省農産局長賞	今井 貫至	松本市	りんご（シナノスイート）
	長野県知事賞	鈴木 駿介	山ノ内町	りんご（シナノスイート）
第 56 回 鉢花類コンクール	農林水産大臣賞	宮坂園芸 宮坂 太木	原村	シクラメン （フェアリーピコ）
	農林水産省農産局長賞	安曇野ゆうわ園 高田 泉	松川村	シクラメン （スーパークレヨン）
	長野県知事賞	H&L プランテーション 鶴飼 和仁	富士見町	ビオラ （ミルフル）
		有限会社田澤農園 田澤 充朗	木曽町	シクラメン （フェアリーピコ クリアブル ー）
令和 6 年度 長野県きゅうり生産 力向上共進会	農林水産大臣賞	酒井 恵	中川村	きゅうり
	農林水産省農産局長賞	横内 一郎	松本市	きゅうり
	長野県知事賞	清水 雅史	上田市	きゅうり
第 20 回 園芸加工品品評会 （園芸加工飲料の 部）	農林水産大臣賞	寿高原食品株式会社	千曲市	信州産りんごジュースし ぼりっぱなし
	農林水産省大臣 官房長賞	ゴールドパック株式会 社	松本市	信州・安曇野トマトジュース （機能性表示食品 GABA） （シーズンパック・食塩無添加）
	農林水産省農産 局長賞	株式会社ナガノトマト	松本市	ナガノトマト 信州生ま れのおいしいトマト食塩 無添加
	長野県知事賞	長野興農株式会社	長野市	Grin a Grin 信州まるごとピ ーチジュース（加糖）
		信濃ワイン株式会社	塩尻市	信濃プレミアムジュース シャルドネ
第 20 回 園芸加工品品評会 （園芸加工食品の 部）	農林水産大臣賞	有限会社はなのみ	長野市	季節限定ジャム 長野県産さくらんぼ
	農林水産省大臣 官房長賞	寿高原食品株式会社	千曲市	自然ジャム 信州産りん ご（紅玉）
	農林水産省農産 局長賞	森食品工業株式会社	千曲市	信州産あんず乾
	長野県知事賞	寿高原食品株式会社	千曲市	長野県産りんごクリーム チーズ
		株式会社スドージャム	安曇野市	旬の雫 信州産 川中島 白桃

行事名	賞の名称	受賞者		受賞部門・受賞品
		氏名	市町村名等	
第 68 回 漬物類品評会 (浅漬物の部)	農林水産大臣賞	有限会社山田醸造	岡谷市	野沢菜漬コンブ味
	農林水産省大臣 官房長賞	株式会社やまへい	小諸市	本醸造醤油野沢菜漬
	関東農政局長賞	株式会社くるまや	御代田町	野沢菜たまり漬
	長野県知事賞	有限会社信濃食品	飯田市	南信州産レモンの大根漬
		株式会社大王	安曇野市	ほろっこ漬
第 68 回 漬物類品評会 (本漬物の部)	農林水産大臣賞	新進漬物株式会社	木島平村	大根みそ漬
	農林水産省大臣 官房長賞	株式会社ダイマツ	中野市	野沢菜ガパオ
	関東農政局長賞	有限会社万水	安曇野市	のりわさび
	長野県知事賞	有限会社丸誠 美寿々屋本舗	長野市	野沢菜本漬
		株式会社キョウショク	御代田町	梅肉ごぼう
令和 6 年度 長野県きのこ 品評会	農林水産大臣賞	株式会社ファースト	中野市	えのきたけ
		涌井 正弘	中野市	ぶなしめじ
	長野県知事賞	石田 浩一	飯山市	えのきたけ
		中村 真哉	千曲市	ぶなしめじ
		田中 徳雄	飯山市	なめこ(株)
第 53 回 寒天品評会	農林水産大臣賞	株式会社マツキ 松木 本	諏訪市	角寒天
	水産庁長官賞	松木寒天産業株式会社 松木 秀之	茅野市	角寒天
	長野県知事賞	有限会社小笠原商店 小笠原 寿房	伊那市	細寒天
		有限会社イチカネト 五味嘉江	茅野市	角寒天
第 77 回 長野県畜産共進会	農林水産大臣賞	竹渕 洋平	JA 松本ハイラ ンド	黒毛和種去勢理想肥育 県内産
	農林水産省畜産 局長賞	竹渕 洋平	JA 松本ハイラ ンド	黒毛和種去勢理想肥育 県外産
	農林水産省関東 農政局長賞	竹渕 洋平	JA 松本ハイラ ンド	黒毛和種雌肥育
	長野県知事賞	有限会社岩垂原 SPF 農場 山本 公利	JA 松本ハイラ ンド	肉豚
		農事組合法人美雪ファ ーム樋口	JA ながの	黒毛和種去勢理想肥育 県内産
		加藤 久志	JA 上伊那	交雑牛去勢肥育
		高塚 賢一	JA 佐久浅間	交雑牛雌肥育

令和6年度明日の長野県農業を担う若人のつどい	長野県知事賞	原 昌紀	豊丘村	プロジェクト発表の部
		藤森 陽一郎	中野市	意見発表の部

行事名	賞の名称	受賞者		受賞部門・受賞品
		氏名	市町村名等	
【一般行事】				
第 51 回 長野県茶の共進会	長野県知事賞	大宮 敬一	南木曾町	やぶきた
第 75 回 下伊那子山羊共進会	特別優秀賞 (長野県知事賞)	一 英明	飯田市	
第 45 回 信州和牛(長野県産) 枝肉共励会	最優秀賞 (長野県知事賞)	中原 洋	南信酪農協	大阪市食肉市場
		株式会社夢ファーム みなみ信州高森農場	JA みなみ信州	京都食肉市場
長野県中央家畜市場 子牛共進会	最優秀賞 (長野県知事賞)	井領 稔	上松町	雌
		古原 敬久	川上村	去勢
信州牛生産販売協議会 第 39 回肉牛枝肉共進会	特別優秀賞 (長野県知事賞)	荒井 伸吾	飯綱町	黒毛和種
令和 6 年度長野県 自給飼料共励会	最優秀賞 (長野県知事賞)	中島 博幸	松本	飼料用トウモロコシ
第 51 回 和牛繁殖技術共励会	最優秀賞 (長野県知事賞)	木下 伸一	喬木村	
第 21 回 鶏卵品質共励会	最優秀賞 (長野県知事賞)	農事組合法人会田 共同養鶏組合	JA 松本ハイランド	赤玉鶏種
第 7 回信州プレミアム 牛肉オール信州共進会 in 京都	最優秀賞 (長野県知事賞)	株式会社肉研ファーム 塩沢牧場	飯田市	
令和 5 年度 信州乳用牛群検定 農家コンクール	最優秀農家 (長野県知事賞)	伊藤 陽一	南箕輪村	乳用牛
第 51 回長野県ブラック アンドホワイトショウ	グランドチャンピオン (長野県知事賞)	小林 政幸	東御市	
第 4 回「風さやか」 食味コンテスト	最優秀賞 (長野県知事賞)	仲俣 涼平	飯綱町	
佐久地域はちみつ共進 会	最優秀賞 (長野県知事賞)	佐藤 則夫	立科町	アカシア
長野県乳質改善共励会	最優秀賞 (長野県知事賞)	片桐 正之	龍峡酪農協	年間 300t 以上
		美斉津 昭信	JA 佐久浅間	年間 150～300t 未満
		小林 豊	JA 信州諏訪	年間 150t 未満

